

対話と価値の共創による京都大学独自の研究評価システム

<COMON>勉強会

Introduction

現在、国際卓越研究大学を見据えて、中核的な位置づけとなる「デパートメント制」の議論が進んでいますが、それと並行し、研究の現場がいかにあるべきか、どのような研究環境を次世代に残すべきなのか、具体的指針を示すため、京都大学独自の研究評価システム<COMON>の枠組みを検討しています。

グローバルな知識経済化などの影響により、学術・研究のエコシステムは変容を迫られています。この変革に伴い、さまざまな改革方策が推進される中で、研究の評価方法が次第に歪曲される傾向が強まっています。社会に直接役立つ研究、あるいは高インパクトジャーナルに掲載されやすい研究など、一定の価値観のみが強調される傾向になり、この傾向は、学問的な探究の広がりを損なう可能性もあります。このような制度改革の文脈では、一般的に変革の動きはトップダウンで、研究現場からの声が届きにくい状況になりがちです。

このような現状に対し、主体の見えない管理を強化する大学改革ではない、研究者自らの発想と協業による研究活動エコシステムを作れないか、という発想から本学で検討しているのが、<COMON>の枠組みです。

京都大学は自らが誇る学術の伝統を基盤に、研究評価の議論においてもまた、独創性と敢為を持って新たな価値と手法を提示できるのではないのでしょうか。<COMON>はあくまで枠組みです。これを京都大学の多様な知の営みに合わせ調整しながら活用することで、研究者が主体となり研究環境を改善させることができるのではないかと考え、まずもって、当事者である構成員による議論の場を設定しました。

<COMON>とは何か、自分の将来の研究環境が10年後、20年後、どうなっていてほしいか、そのためにはどのような評価システムがよいのか、等、皆で議論をしませんか。動き始めた<COMON>。設計に携わっているメンバーが会場でお待ちしています。また、出前による勉強会※開催のご希望も受け付けます。

<COMON>ウェブページ

<https://www.research.kyoto-u.ac.jp/comon-info/>

Information

各回の構成 |

コアタイム（60分）：

- ・説明 20分

現在検討中の研究評価システム＜COMON＞の基本的な考え方、および、（今後デパートメント制に移行した場合）各デパートメントにおいて進めることになる、展望と戦略の検討・整理に関する概要の説明

- ・質疑 40分

任意参加（30分程度）： オープンディスカッション

日時と場所 |

第1回 8月20日（水） 12：15 - 13：15 （コアタイム、最長14：00まで）

吉田キャンパス学術研究支援棟 1階セミナー室1

第2回以降 宇治、桂キャンパスでの実施を検討中（随時周知します）

出前勉強会開催： 9月中旬頃までの開催を目安に希望日時・場所をご連絡ください

詳細は下記申込方法をご覧ください（×切 8月29日）

対象 |

京都大学の教職員であれば、どなたでもご参加いただけます

申込方法 |

第1回 8月19日（火）正午までに下記フォームからお申し込みください

フォーム URL <https://forms.gle/D7DAvhxiLbAkmv8u9>

第2回以降 以下の項目を記載し、kura-ir@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp までお知らせください。

おひとりからでもまずはお気軽にご連絡ください。

- 氏名・所属
- 開催希望時期（9月中旬頃までに実施）
- 開催場所（例：XXX 研究科建物内など）

問合せ先： kura-ir@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

京都大学 総合研究推進本部

分析・評価部門 ＜COMON＞担当

橋爪・佐々木・仲野・田中